



～2024-25年度主題～

国際会長 シアナヴァスカーン (インド) “Together for better world”  
 アジア太平洋地域会長 ジョウン・ウオン (香港) “Make a Great Impact”  
 東日本区理事 山田公平 (宇都宮C) “Our Future Direction”  
 湘南・沖縄部長 久保勝昭 (横浜つづきC) “共に出会い、共に喜びを！”  
 クラブ会長 鈴木 茂 “受けるよりも、与えるは幸いななり”

～今年度クラブ役員～

会長 鈴木 茂  
 副会長 坂口 直樹  
 書記 大野 君枝  
 会計 鈴木 恭子  
 直前会長 今城 高之  
 監事 辻 剛

今月の聖句

主をどこまでも信頼せよ。  
 主こそとしえの岩。  
 イザヤ書26章4節

《巻頭メッセージ》

始めに言葉があった

水谷裕子

子どもたちと日々関わる中で、言葉の端々から、そのらしいモノの見方や個性が伝わってくる。こども自身の言葉を聴き、こどもの声に耳を傾けることが最初の第一歩。無関心を装いながらも家族を思いやる本音や、発達障がいやLGBTQ等の難しい問題を抱えて生きている姿も知る。本当に伝えたい言葉を待ち聴いていく関わりは祈りのような営みであると感じる。



聴くことを土台とするNPO法人を設立して13年。7年前からは「対話実践（北欧ダイアログ）と傾聴」を活動の軸に、生きづらさを抱え孤立しがちな子ども・青年・保護者・高齢者を、居場所・学習・相談・生活・アート活動・食品配布などで支えてきた。

毎月1回の「アーモンドこども食堂」では、2023年秋「こども哲学対話」を開始。小中高生から大学生が参加し、6月のテーマは「もしも名前がなかったら？」「名前があるからこそ、その人らしさを表現できる」「名前は人生そのもの」。これまでこどもたちから出された対話のテーマは、「友達とは」「自由とは」「普通って何？」「あなたにとって安心とは？」「食べることは」と等々。

時には、オープンダイアログの手法「リフレクティング・プロセス」を取り入れ、こどもの話を傾聴した人たちが、内容について目前で対話を行う。「透明な壁の向こうにいる」人たちが自分の話を聞いて対話する場で、こどもたちは自己理解を深め、「不安なのは自分だけではない」と気づき、ひとりぼっちの孤立から共に生きている感覚を体験する。

安心できる場で安心できる相手に思いや考えを語る経験は、やがて他者の考えに耳を傾け、自分の考えを深める内的成長をうながし、自己肯定感や自信につながり、未来への希望と成っていく。

2023年夏、私はフィンランドを2週間訪れ、国を代表するダイアログ実践者・開発者たちに直接会って学ぶ中で、日本のこども青少年支援に対話実践を取り入れる相談をした。その際、“Keep doing!! あなたがやろうとしていることは難しいが大変に尊い。日本の現場でやり続けてください!!”と励まされた。それは、「ダイアログの力を知るマエストロ達」からの予言のように響いた。

帰国後、北アイルランドの学校を舞台にしたドキュメンタリー映画『ぼくたちの哲学教室』を仲間達と観た。歴史的に宗教・政治対立が根深い紛争の地ベルファスト、青少年の自殺率がヨーロッパでもっとも高い孤立と孤独の地で生きるこどもたちを、学校内での「対話実践」が救っているのだ。

日本では、毎週およそ10人の小中高生が命を絶っている。不登校の児童生徒数も過去最多（346,482人）を更新した。孤立と孤独の中を生きるこどもたちがいる。外から見れば「平和で豊かな国」である日本。しかし、内側からは「格差と分断が進む国」としての現実が見えてくる。

この現実、わたしたちはどう向き合って生きていくのか。小さくかすかな声にも耳を傾けることの大切さを、あらためて心にとめて歩んでいきたい。

6月の本例会

日時 6月27日(金)17:30～  
 場所 かけはし都筑  
 司会 ロブ・エスキルドセン  
 受付・記録 鮫嶋幸和子

=プログラム=

1. 開会点鐘 会長
2. ワイズソング・信条唱和 一同
3. 今月の聖句と祈禱 担当主事
4. ゲスト・ビジター紹介
5. 会長挨拶
6. 卓話 黄 崇子さん  
 横浜YMCA常議員会議長  
 「YMCAと在日台湾人二世の私」
7. 行事予定・報告事項
  - 1) 東日本区
  - 2) 神奈川県
  - 3) つづきクラブ
8. YMCA報告
9. Happy Birthday  
 ・大野君江さん (6/21)
10. スマイル・アピール
11. 閉会点鐘 会長

※閉会后、ヴァンサンにて会食会



“To acknowledge the duty that accompanies every right”

## 例会報告

## 横浜つづきクラブ5月度事務例会報告

今城宏子 記

日時：5月13日(火)17:00~19:00

場所：みんなの家集会室

出席：今城H 大野 坂口 鮫嶋幸和子 鈴木K・S

辻Ts 森山 (ゲスト) 鮫嶋紘孝

開会点鐘に続き、鈴木会長からの挨拶。特に、先の北Yのお世話により、菊名「花の舞」での交流会について感謝が述べられた。

## &lt;協議事項&gt;

## ・富士山YMCA移動例会 (5/16金~17土)

6クラブから計26名の出席予定。参加者、スケジュール、役割分担、部屋割り等の確認を行った。

## ・北YMCA交流会 (5/10土) は、総勢22名の参加があり、盛会であった。出席者は、当クラブよりの坂口 鈴木K・S 辻Ts 森山各ワイズに加え、北Yスタッフ、同運営委員が参加。

## ・宇都宮で開催予定の第28回東日本区大会 (6/7土) には、当クラブより、坂口、鈴木S各ワイズが出席予定。

## ・第31回アジア太平洋地域大会 (8/1金~8/3土@熊本) には鈴木Sワイズが参加予定。なお、同時開催のアジア太平洋地域ユースコンボケーション参加者募集の件について説明がされた。

## ・横浜クラブ主催の納涼会 (8/27 ロイヤルホール 会費7,000円) は部行事の様相となっていることもあり、積極的な参加が望まれる。

## ・つづきクラブのグループLINE使用に関するガイドライン (案) がIT担当の坂口ワイズにより提案された。6月の事

務例会に於いて確認の協議を行い、7月の総会にて承認を行うこととする。

## &lt;今後の予定&gt;

1. 6月巻頭言：水谷裕子

2. TKBカード作り：5/21水 6/18水 7/16水  
13:30~ @夢Café3. 6月事務例会：/10 (火) 17:00~@@夢カフェ  
次期クラブ役員体制・活動計画等について検討する。

4. 部評議会：6/21 (土) 15:00~

5. 6月本例会：6/27 (金) 7:30~

@かけはし都筑

卓話：黄崇子横浜YMCA常議員会議長

「YMCAと在日台湾人2世の私」

司会：ロブ・エスキルドセン。

懇親会「ヴァンサン」 会長から部の皆様に周知する。

6. 7月事務例会：7/8 (火) 17:00~

@夢カフェ クラブ決算・予算案についての審議予定

7. 7月本例会：7/25 (金) 17:30~

@かけはし都筑 兵藤神奈川部長公式訪問

## &lt;報告事項&gt;

北YMCA：森山館長から「交流会への参加頂き、感謝」

5/31 (土) YMCA総会への出席要望。

鈴木会長による閉会点鐘にて終了後、富士山例会のための買い出しを行った。

以上



## TKB活動報告

梅雨入り宣言も聞かれないうちから、早くも猛暑の予報が出されていますが、皆様、如何お過ごしでしょうか。TKBではしっかりと季節を守り、6月のバースデーカードは紫陽花を絵柄に選びました。この所、健康を損ねているメンバーも多く、お仕事会に参加できる人も限られています。参加者は、せっせと手を動かし、勿論、口も動かし、作業に取り組みました。カードの送り先、宮城県山元町 (亶理郡) 「みやま荘」のご高齢者や「つばめの杜保育所」のちびっこ達に思いを馳せ、皆さんが厳しい夏を元気に乗り切ってくれることを心より祈っています。私たちのクラブは来年で創立20周年を迎えます。東日本大震災の発災は2011年、クラブ創立5周年の時でした。あれから15年、私たちは決して忘れません。

*"To acknowledge the duty that accompanies every right"*

## 例会報告 グ参加報告

## 2025年度 横浜YMCA会員総会 報告

鈴木 茂 記

開催日時：2025年5月31日（土）14:00-16:30

会場：湘南とつかYMCA+Zoom

会場参加者：97名、Zoom参加者 約70名（登録  
総会構成員431名、委任状を含めた出席  
者数は定足数216名以上を確保）

さる5月31日（土）、コロナ禍が落ち着いた今年の横浜YMCA会員総会は、久しぶりに「湘南とつかYMCA」で開催された。荒井 仁 牧師・総会準備員による開会礼拝、岡戸良子・総会準備委員長による開会挨拶に続いて、次の1号～3号議案が上程され、いずれも賛成多数により可決承認された。

第1号議案 2024年度事業および会計報告の承認

第2号議案 2025年度活動方針（案）および予算  
（案）の承認

第3号議案 常議員の選出の件

第1号・第2号議案は、会場の大スクリーンに映写されたデータに基づき、佐竹 博総主事から説明、提案が行われた。第3号議案では、新たに3人の方々が常議員に選出さ

れた。

続く特別プログラムでは、「能登半島地震・豪雨災害被災地に思いを寄せる」とのテーマのもとに、現地の支援活動に参加した4名の横浜YMCAスタッフから、活動の様子と一緒に参加した高校生や専門学校の学生たちの様子などについて、スクリーンを通して説明・報告があった。今後も支援活動の継続や、募金活動が必要であることが訴えられた。

続いて会員表彰では、横浜YMCAの野外活動、サッカー、スキー、水泳、オルタナティブなどの分野で活動している31名のユースリーダーたちが表彰された。また、横浜YMCAの維持会員で長年YMCAに良き奉仕をされた方を受賞対象とする「奉仕の書」は、大和YMCA運営委員、横浜YMCA国際協力委員として活躍された石橋正彦氏が受賞された。

その後、工藤誠一理事長の挨拶、閉会礼拝、佐竹 博総主事挨拶、YMCAの歌斉唱と続いて、会員総会は無事終了した。

以上

## 北YMCA便り 横浜北YMCA 水上 真帆



**横** 横浜北YMCAオルタナティブ事業部では、体を動かすことや、大人数での活動が得意でない幼児～小学生のお子さん向けの水泳プログラム、“バランススイム”を行っています。幼児向けの児童発達支援プログラムでは年間クラスを開講しておりますが、「小学生になっても水泳を続けたい」との声を子どもたち、保護者の方々より多くいただき、小学生クラスは月に2回という形で実施をしています。今年度は第1期が終わり、6月より第2期がスタートします。昨年度まで児童発達支援に在籍をしていて、今年度小学生になった子どもたちが、たくさん参加をしてくれています。クラスの前後で「小学校はたのしい？」「先生はやさしい？」などと近況について話をする中で、小学生としてそれぞれ頑張っている姿を見ることができ、継続して子どもたちの成長を見守れる機会にもなっています。また、子どもたちだけでなく、保護者の方々とも継続してその成長を喜び合うことができています。水泳のプログラムに限らず、オルタナティブ事業部では子どもたちを長く支援していくことを大切にしています。特に、特性のある子どもたちは、初めての場所や人を苦手とする子が多く、慣れるまでも時間がかかります。そのような子どもたちにとって、小学校入学など普通の生活が大きく変わることは、大変なことですが、「YMCAは変わらない」という安心感を持ってもらえるといいと考えてい

ます。実際に保護者の方からも、「この先も長く見てもらえるプログラムがあるのは、安心です」といったお声をいただくこともあります。それぞれのライフステージで、大きく環境が変わることは避けられないことですが、YMCAはいつも変わらず、子どもたちや保護者に寄り添うことができる場でありたいと思います。



横浜北YMCA  
横浜市港北区菊名6丁目13-57  
Tel: 045-433-4321



*“To acknowledge the duty that accompanies every right”*

特別報告

2025年5月 『富士山例会』

坂口直樹 記

コロナ禍が落ち着いた昨年から再開された、横浜つづきクラブ恒例の「富士山例会」が、2025年5月16日（金）～17日（土）に開催されました。

今回は、当クラブから7名（鈴木茂会長、今城宏子さん、大野君枝さん、鈴木恭子さん、三木直子さん、森山真治さん、坂口直樹）に加え、沖縄・湘南部の各クラブや、古くから親交のあるクラブメンバーも含め、総勢27名が参加。楽しい懇親の場となり、ワイズ活動のパワーアップにもつながる良い機会となりました。

【到着まで】

例年、当クラブの富士山例会を仕切っていた今城高之ワイズが体調を崩し、残念ながら不参加に。

その代わりに、鈴木会長が幹事代行として、バスの手配や参加者の募集、BBQの準備まで一手に引き受けてくれました。私たちはまさに「おんぶにだっこ」で、気軽に参加できたことに感謝いたします。

今回は、鎌倉クラブの兵藤ワイズご紹介の旅行会社「(有)旅人」の大型バスをチャーター。

朝10時に中央YMCA前を出発し、センター南で他メンバーをピックアップして、東名高速を一路富士山YMCAへ。途中、足柄サービスエリアで昼食と休憩を取り、「シラスと桜エビのうどん」が大人気でした。

バスは予定通り14時過ぎに「富士山グローバルエコビレッジ（GEV）」に到着。

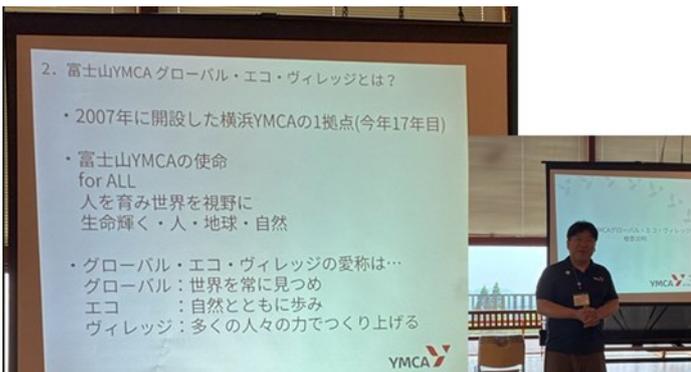
予報では開催両日とも雨の予想でしたが、私たちの到着を待ってくれたかのように天気もち、富士山が出迎えてくれました。

（1時間後には顔を隠してしまいましたが……）

【オリエンテーション】

到着後、全員がメインホールに集し、学びの時間。

三上所長より「富士山グローバルエコビレッジ」の名称の由来やエコビレッジの役割、利用の変遷についてお話を伺いました。その後、各部屋にチェックインし、再び集合して自己紹介タイム。



つづきクラブ7名をはじめ、横浜（3名）、鎌倉（4名）、

厚木（2名）、つるみ（2名）、ヤマト（1名）、板崎さんのハープ友達（3名）、富士五湖（3名）、富士山YMCA（2名）と、多彩な顔ぶれで、湘南・沖縄部（来年度から「かながわ部」）のほとんどのクラブからの参加があり、部の公式行事としての体裁が整ってきた印象でした。

【いよいよBBQの準備】

旧厩舎を会場にBBQの準備。富士山YMCAに依頼して食材を手配していただきました。

「こんなに食べられるかな？」と驚くほどの量。恒例の北海道・十勝の山田敏明農場から届いたアスパラガスもたっぷり。ワインや飲み物を辻さんが事前に送っていただきました。ごちそうさまでした！



（こんなに飲み食いできるのかな？）

アスパラガスは茎の下部まで柔らかく、三角形のハカマだけ切り落とし、美味しくいただきました。

大量の下ごしらえも、みんなで協力すれば苦になりません。贅沢な味わいに、幸せをしみじみ感じました。



富士宮焼きそばは野菜炒めからです。

古賀健一郎シェフとサポートするつづきワイズエプロン姿の坂口ワイズ。

次頁へ

兵藤芳朗さんが富士宮焼きそばシェフ頑張ってます。量が多いので鉄板からはみ出しそうですね。池田シェフはひと休み。ご苦労様でした。



富士宮焼きそばの特徴の「焼きそばの友（肉かす）」をまぶして焼きます。焼きあがったら最後にけずり粉・青海苔・紅しょうが等をふりかけると最高だそうです。（順番はやや怪しいですが…）。とにかく美味しく、満腹満足！

BBQ後片付けもワイズのチームワークを発揮してあっという間でした。

【20時 食後の懇親会】

小松さんのトランペット演奏でスタート。金色に輝くトランペットからのやさしい音色が、心地よく響きました。ゆったり聴続いて、板崎さんとお友達によるヘルマンハーブ演奏。



ヘルマンハーブの音楽を通じて包み込まれるような癒しの時間を過ごしました。

ヘルマンハーブはドイツ・バイエルン州で、一台一台、熟練の職人の手

によってハンドメイドで製作されていて1台の製作にはおよそ4か月～6か月の時間がかかる貴重な楽器なのだそうです。ヘルマン・フェー氏によって1987年にダウン症の息子のために開発され社会的な弱者に器楽演奏への扉を開いた楽器として、日本にも2004年以降人気広がっているとのことです。（日本ヘルマンハーブHP）

さらに、三木直子さんによる讃美歌の独唱！美しいソプラノの歌声に心が洗われました。

懇親会の最後はみんなで明治から昭和にかけての懐かしの歌をみんなで合唱です。子供のころ、学生の頃を思い出しながら

歌いました。きれいにハモッていたかも。録音しておけばよかった。

お開きのあとお風呂に入って就寝zzzz おやすみなさい。夜半から大雨が降りだしていました。

【翌朝：早天礼拝】



朝からの雨のため、ホールに集まり、7時半から鈴木会長の司会、古賀健一郎さんの奨励による早天礼拝が行われました。

突然のがん告知と手術を乗り越えた古賀さんの話から、喜びと生きる力をいただきました。

早天礼拝を終え、8時からメインホールで朝食を頂き、部屋のあと片づけや荷物のパッキングを行い10時にバスは出発し次の目的地に向かいました。

【帰路：道の駅なるさわ～東山荘】

大雨のドライブで富士山は望めません。途中のなるさわでお土産を買い求め、一路御殿場の東山荘に到着。雨にみどり新緑が潤う景色を眺めながら東山荘のおいしいランチを頂きました。そして一路横浜に向かい、予定より少し早くセンター南、中央YMCAに無事到着、それぞれの家路に向かいました。

楽しかった富士山例会、これにて終了！

皆さま、お疲れさまでした。特に鈴木会長、幹事としての完璧なご対応、本当にありがとうございました。



“To acknowledge the duty that accompanies every right”

## 会議報告

## 第28回 ワイズメンズクラブ国際協会東日本区大会

鈴木 茂 記

開催日時：2025年6月7日（土）・6月8日（日）

会場：ライトキューブ宇都宮

参加者：280名（主催者側発表）

当クラブからの参加者：坂口直樹、鈴木 茂

宇都宮での東日本区大会は2003年、2022年に続き、今回は3回目の開催である。ただ、前2022大会はコロナ禍のために、Zoomでの開催となり、今回はある意味ではそのリベンジ大会であった。13:00定刻、恒例のバナーセレモニーによって式典は開始された。例年の、各部長、会長がバナーをもって登壇する方式ではなく、時間節約のためか、最初から部長・会長がバナーを持って舞台上に整列した体制で、開会式が行なわれた。

佐藤栄一・宇都宮市長、田口 努・日本YMCA同盟総主事、Joan Wong・アジア太平洋地域会長、鶴丹谷 剛・西日本区理事のご挨拶に引き続いて、過去1年間に逝去されたメンバーを追悼する「メモリアルアワー」の時が持たれた。昨年9月、山中湖センターで開催されたユースボランティア・リーダーズフォーラム最中に亡くなられた、故・城田教寛ユース事業主任も紹介された。

理事年次報告に次いで、第2回「ユースアクションプロジェクト」に東日本区から参加した7チームを代表して、盛岡YMCAユースリーダーによる「子どもの人権プロジェクト」の報告があった。これは、盛岡YMCAのユースリーダーたちが2年前から地元弁護士会の協力も得て、子どもの人権をテーマとした自作の「人権カルタ」を作り、岩手県内すべての小学校に配り、県内小学校での「いじめゼロ」を目指すプロジェクトである。

続いて、大会開催日当日、直前10:00から開催された「代議員会」の報告が行なわれ、下記8つの議案が何れも承認可決された旨が発表された。

第1号議案 2024-2025年度 東日本区年次報告承認の件

第2号議案 2024-2025年度 東日本区中間決算および会計監査報告承認の件

第3号議案 次期理事（2025-2026年度理事）等の指名の件

第4号議案 2025-2026年度東日本区理事方針、予算案、役員案承認の件

第5号議案 2025-2026年度臨時代議員会実施承認の件

第6号議案 区の範囲検討を踏まえた必要な定款・定款施行細則の変更承認の件

第7号議案 部の在り方の検討を踏まえた必要な定款・定款施行細則の変更承認の件

第8号議案 東日本区大会の実行体制の変更に必要な定款・定款施行細則の変更承認の件

第6号議案は、東日本区の地理的範囲から沖縄県を削除し、従来の「湘南・沖縄部」を「かながわ部」に変更するための措置である。第8号議案は、区大会の開催、運営を「ホストクラブ」に一任する従来の方式は、担当クラブの負担が大きすぎるとして、今後は「区大会実行委員会」を設け、代議員会が承認したクラブ、部、理事が適当と認める団体（ホスト）と連携し、大会開催に必要な処理、実行の一部を行う旨を規定する措置である。

休憩後、各事業委員会、理事からの表彰式が行われた。当つづきクラブは、登壇して受賞するほどの表彰は無かったが、①地域奉仕・YMCAサービス事業で「FF献金達成賞」、国際・交流事業で「YES献金達成賞」、ユース事業で「ユース活動支援献金達成賞」を受賞した。

その後、壇上に関係クラブメンバーが集い、IBC（川越クラブ・ハイデラバードクラブ）およびDBC（千葉クラブ・大阪土佐堀クラブ）の締結式が執り行われた。続いて式典の最後として、新旧理事・役員引継ぎ式が行われた。

アトラクションとして、「笑点」大喜利メンバーでもある立川晴の輔師匠による落語会があり、会場を沸かした。

18:40から参加者全員が集う大晩餐会が催され、宇都宮ご自慢の「ぎょうざ」がふんだんに振舞われた。20:40からは、本日最後のプログラムとなる「フェローシップ」の時間が設けられ、希望者はさらに杯を重ねながら懇親の時を過ごした。

翌6月8日（日）は、9:30から日曜礼拝が行われた後、バス旅行・エクスカーションが実施されたが、筆者は所用により参加できなかった。

以上



*“To acknowledge the duty that accompanies every right”*

例会報告

つづきクラブ6月度事務例会

今城 宏子 記

日時：2025年6月10日（火）17:00~19:15  
 場所：夢カフェ  
 出席：今城T・H 坂口 鈴木K・S 辻Ts 森山  
 開会点鐘に続き鈴木会長から挨拶。

<協議事項>

1. 富士山YMCA移動例会収支報告の件  
 会長による報告。詳細は、本誌参照。
2. 2025~26年度クラブ会長主題及び事業方針の件。  
 坂口次期会長から提案があり、若干の修正を経て、7月の総会に諮ることとした。
3. 2025年~2026年度クラブ事業計画の件。坂口次期会長から提案あり、若干の修正を経て、7月の総会に諮ることとした。
4. 2025年~2026年度クラブ役員体制の件。坂口次期会長からの提案に対し、若干の修正を行い7月の総会に諮ることとした。
5. 2025年~2026年度クラブ役割分担の件。坂口次期会長からの提案に対し、若干の修正を行い7月の総会に諮ることとした。
6. 横浜クラブ納涼会の件（2025.8.21木）  
 部の行事として行われる方向にあることから、積極的な参加が望まれる。@ロイヤルホール横浜 7,000円
7. 「横浜つづきクラブ・グループLINE利用ガイドライン」  
 坂口次期会長から説明を受け、総会にて承認を受ける。
8. 当クラブ事務例会の開始時間変更の件につき、新年度

から開始時間を17:30からとすることとした。  
 <今後の行事予定>

- 6月18日（水）13:30~ TKB カード作り @夢カフェ
- 6月21日（土）部評議会 @中央Y
- 6月27日（金）17:30~19:00 6月本例会  
 @かけはし都筑  
 卓話：黄 崇子氏 横浜YMCA常儀委員会議長  
 「YMCAと在日台湾人2世の私」  
 司会：ロブ・エスキルドセン  
 鈴木会長から他クラブに周知。プリテン号外も出すこととした。
- 7月8日（火）17:30~ 7月事務例会 @夢カフェ  
 クラブ決算・予算審議
- 7月25日（金）17:30~ 7月本例会・総会 兵藤部長  
 公式訪問 @かけはし都筑

<報告事項>

東日本区大会：鈴木会長、坂口次期会長出席。  
 鈴木会長から下記の報告がされた。  
 ・3件の達成賞（地域奉仕・Yサ FF献金、国際・交流 YES献金、ユース活動支援献金）で表彰を受けたこと、8議案についての説明・報告。

<その他>

YMCAやY's クラブに興味をお持ちの方から会長に連絡があった。（2件）  
 閉会点鐘をもって 閉会。

**トピックス** 以前北YMCAにおられた太田聡さんが、埼玉YMCA総主事に就任され、就任式がありました。おめでとう！



(5月実績)

|      |     |        |     |      |      |         |
|------|-----|--------|-----|------|------|---------|
| 例会出席 | 27名 | 在籍会員数  | 16名 | 各種記録 | 5月実績 | 年度累計    |
| メンバー | 7名  | 月間出席者数 | 7名  | スマイル | 0円   | 12,800円 |
| ビジター | 14名 | メ・キャップ | 1名  | —    | —    | —       |
| ゲスト  | 6名  | 月間出席率  | 50% | —    | —    | —       |



“To acknowledge the duty that accompanies every right”

## 会議報告

## 第106回YMCA-Y's協議会 報告

鈴木 茂 記

開催日時：2025年6月3日（火）19:00-20:30

会場：横浜中央YMCA 608室 + Zoom

担当クラブ：鎌倉クラブ

出席者：24名（当クラブ出席者：森山担当主事、鈴木S、辻Tsu（Zoom参加））。

## 【概要】

1. 開会礼拝 藤沢幸隆・鎌倉クラブ担当主事により聖書朗読（テサロニケの信徒への手紙Ⅱ 2:17）と祈祷。
2. 挨拶 佐竹 博総主事：横浜YMCAは、ワイズと異なり4月から新年度に入った。2025年度もワイズ各クラブとの協働により、YMCA活動を展開してゆきたい。新年度の部・各クラブ担当主事は次の通り。部・森山、横浜・菅原、鎌倉・藤沢（継続）、厚木・加藤、金沢八景・雲走（継続）、つづき・森山（継続）、つるみ・石川、大和・島田。

久保勝昭・湘南沖縄部長：6月末で、部長の任期を終える。2回目の部長就任であったが、多くの貴重な経験をし、部長を担当してよかったと考えている。

3. 協議 司会：板崎淑子・鎌倉クラブ会長
  1. 第28回 インターナショナルチャリティーラン。  
関口 努・事務局長から、今年は10月18日（土）にチャリティーランを実施する予定であるとして、各クラブへのスポンサー協力と、当日の会場運営への参加協力の依頼があった。また、昨年の収支報告と障がい児・者事業への支援内訳の報告があった。You & I コンサートも支援先の一つとして紹介された。
  2. 第32回AIDS文化フォーラム。  
柳原絵里子担当主事から、今年も8月1日（金）～3日（日）の3日間、かながわ県民センターで「AIDS文化フォーラム」が開催されるとして、その計画概要の説明と参加の呼びかけがあった。
  3. 第37回東日本ユースボランティアリーダーズフォーラム。  
宮澤 仁担当主事より、今年の標記リーダーズフォーラムは、横浜YMCAの担当により、9月5日（金）～7日（日）に富士山YMCAで開催されるとして、例年にまさる湘南沖縄部の協力要請があった。関連して、古賀健一郎・部ユース主査より、従来このフォーラムに必要とされる資金は、東日本区各クラブから一律20,000円の献金をお願いしてきたが、クラブの人員数によって不公平感があるので、今年は各クラブの人数割りになる見込みであるとの説明があった。

## 4. 報告

- ① 横浜YMCAリーダー感謝会：藤沢幸隆・鎌倉クラブ担当主事より、さる2月24日、三浦YMCAエコヴィレッジにて、リーダー感謝会が開催され、ユースリーダー

30名が参加したとの報告があった。

- ② 湘南・沖縄部ワイワイ交流会：久保勝昭部長より、さる4月26日（土）三浦YMCAエコヴィレッジにて部主催初めての交流会が開催され、担当主事を含め31名の参加があり、卓球大会、BBQ等を楽しんだとの報告があった。
- ③ 第28回ワイズメンズクラブ東日本区大会：久保部長より、今年のワイズ東日本区大会は、6月7日（土）・8日（日）の両日、宇都宮で開催されるとの報告。
- ④ ワイズ湘南沖縄部（次年度以降・かながわ部）役員：兵藤芳朗・次期かながわ部長より、別紙に基づき、2025-2026年度部役員氏名が報告された。

## 5. 各クラブ報告

- ① 横浜クラブ：古田和彦クラブ会長より、8月28日（木）に計画されていた横浜クラブ主催の納涼例会は、横浜YMCAの行事の関係で8月21日（木）に変更することになったとの報告。会場（ロイヤルホール横浜）は変更なし。
- ② 横浜つづきクラブ：鈴木会長より、去る5月16日（金）～17日（土）に実施された富士山YMCA例会に関し、部各クラブから多くの参加をいただき、無事開催されたこと、並びにつづきクラブ恒例のYou \$ I コンサートは、今年は11月1日（土）センター北駅近くに新設されたポッシュホールで開催する予定であることが報告された。

次回107回：2025年9月2日（火）19:00～20:30、  
担当・厚木クラブ。 以上



懐かし一枚！古い写真が出てきました。キャプションを見ると、2007年8月25日「入会式とBBQ」とあります。クラブ創設からようやく1年が経過したころ、ロゴの入ったTシャツやエプロンも出来上がり、血気盛んな頃？だったのでしょうか。

*“To acknowledge the duty that accompanies every right”*